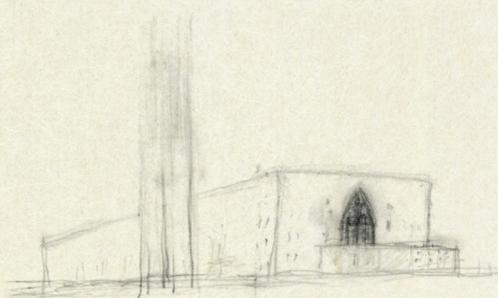
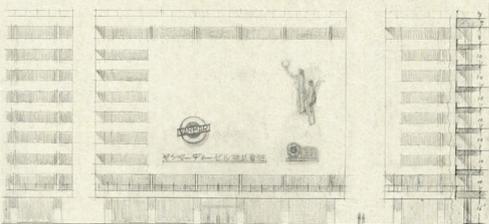
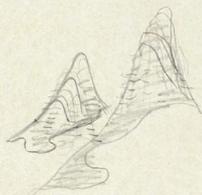
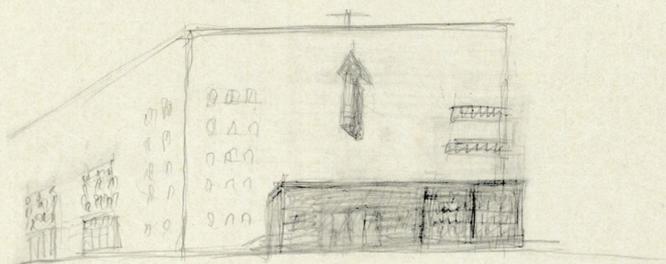


The Architecture and Noble Character of Eikichi Hasebe as Seen in His Sketches

# 隣人——スケッチにみる 長谷部鋭吉の建築と人柄



2026年3月23日(月)-5月16日(土)

Monday, 23rd March - Saturday, 16th May, 2026

京都工芸繊維大学美術工芸資料館

Museum and Archives, Kyoto Institute of Technology

開館時間：10:00-17:00（入館は16:30まで）

休館日：日曜日・祝日

入館料：一般200円、大学生150円、高校生以下無料

\*大学コンソーシアム京都に加盟する大学の学生・院生は学生証の提示により無料  
\*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳または被爆者健康手帳  
をお持ちの方及び付添の方1名は無料（入館の際は、手帳の提示をお願いします）

主催：京都工芸繊維大学美術工芸資料館

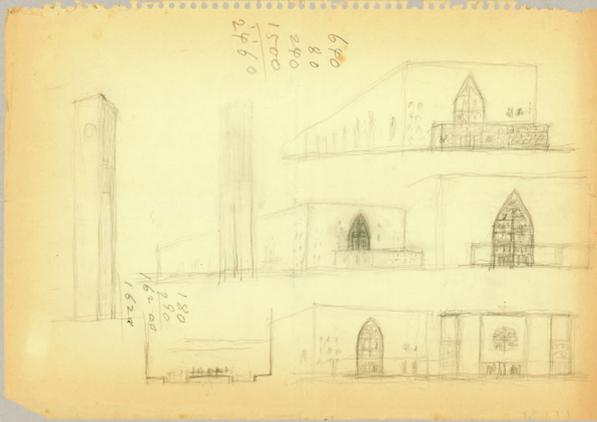
協力：株式会社日建設計、関電不動産開発株式会社、平和不動産株式会社、京都・大学ミュージアム連携



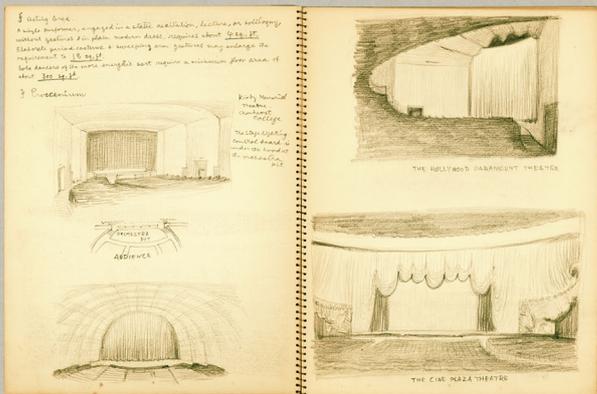
京都工芸繊維大学  
美術工芸資料館  
MUSEUM AND ARCHIVES



京都・大学ミュージアム連携  
University Museum Association of Kyoto



1



2



3



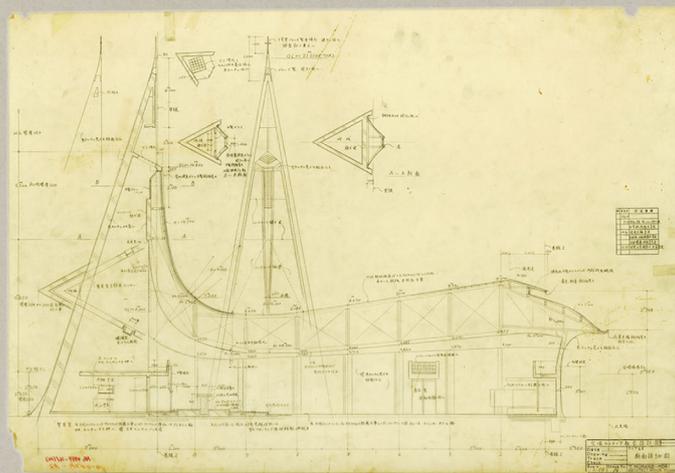
4



5



6



7

長谷部鋭吉(1885-1960)は、大正から昭和にかけての関西を代表する建築家のひとりです。東京帝国大学に学んだ長谷部は、住友本店臨時建築部で「住友ビルディング」(1930年)の設計に携わったのち、同僚の竹腰健造とともに長谷部竹腰建築事務所を立ち上げ、現在の日建設計の基礎を築きました。

長谷部は、住友ビルディングで担当したファサードをはじめ、住友家が収集した銅器の収蔵庫である「泉屋博古館」(1936年、旧館・1929年)、「宇治ビルディング」(1937年)、「カトリック芦屋教会」(1953年)などにみられる卓越したデザイン力で知られています。同時に、その温厚な人柄から多くの建築家に慕われた人物でもありました。長谷部は自身のカトリック信仰から、戦後の困難な時期に自宅の離れを教会堂として提供するという、「隣人愛」を体現したエピソードも残しています。

村野藤吾(1891-1984)も、長谷部を深く敬愛した建築家のひとりです。村野は自らの住まいを宝塚の長谷部邸の隣に構え、文字通りの「隣人」として交流を育みました。また、村野は、長谷部の遺志を継ぐ形で「宝塚カトリック教会」(1965年)を設計しました。

長谷部は学生時代から徹底して手を動かす人物でした。図面が真っ黒になるまで構想を重ねたと伝えられ、その姿勢は晩年に至るまで変わることはありませんでした。2025年に京都工芸繊維大学美術工芸資料館が寄贈を受けた長谷部のスケッチブックには、建築のみならずレリーフの意匠やタペストリーにまで思考を巡らせた跡が残されており、その創造の幅広さと探求心を物語っています。

本展では、これらのスケッチブックを中心に、当館が所蔵する村野藤吾資料などを交えて、長谷部が携わった建築作品、彼の人柄を示す記録、さらに村野藤吾との交流を紹介します。静かな筆致に宿る長谷部鋭吉の深い思索と温かさに触れていただければ幸いです。

- 1 長谷部鋭吉《スケッチブック カトリック玉造教会のファサードか》
- 2 長谷部鋭吉《スケッチブック 『Theatres & auditoriums』(New York, 1949)の写し》
- 3 長谷部鋭吉《スケッチブック タペストリー原画》
- 4 長谷部鋭吉《南画 山水》
- 5 長谷部鋭吉《スケッチブック(1952~1955年頃)》
- 6 長谷部鋭吉肖像写真 撮影：大沢泰夫(1957年)
- 7 村野藤吾《宝塚カトリック教会 断面詳細図》AN.4989-36

表面：長谷部鋭吉《スケッチブック カトリック玉造教会の内観パース》  
長谷部鋭吉《スケッチブック》より部分

\*すべて京都工芸繊維大学美術工芸資料館収蔵

同時開催：「光安義光と村野藤吾—共振するモダンデザイナー—」

お問い合わせ：京都工芸繊維大学美術工芸資料館

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町

TEL：075-724-7924 <https://www.museum.kit.ac.jp/>

## 交通

・市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎駅」下車1番出口から徒歩約8分

・京都バス「高野泉町」下車徒歩約10分

・叡山電車「修学院駅」下車徒歩約15分

By Subways: Take Karasuma Line Subway to "Matsugasaki" Station, exit from Exit 1 and walk east for 8 minutes.

By Kyoto Bus: Get off at "Takano-Izumicho" stop. Cross the Takano river and walk west for 10 minutes.

By Eizan Railway: Get off at "Shugakuin" Station and walk west for 15 minutes.

Museum and Archives is located in front of the main entrance of KIT west campus.

